

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

使用量はkg/10a

<土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
鶏糞(粒)やまがたU 鶏ふん	鶏ふん		1.2	0	6.5		4.2			元肥	100	12月上旬	1		100	12月上旬	1	
JA庄内みどり特裁号		JA	10	4.7	8		8			元肥	40	12月上旬	1	1.9	40	12月上旬	1	1.9
堆肥(トンポスト)	もみがら	飽海郡遊佐町	2	0	2.7		1.8			元肥	1000	12月上旬	1		1000	12月上旬	1	
有機アグレット673 特号	動植物有機、Mg	朝日アグリア(株)	6	0	7		3		100	追肥	20	3月中旬			20	3月中旬		
BM苦土重焼燐		小野田化学工業(株)		0						追肥	20	3月中旬			20	3月中旬		
バイカルディ	C2O 速乾性カルシウム	見栄化学工業(株)		0						追肥	1.05	7月中~9月中	3		1.05	7月中~9月中	3	
有機アグレット673 特号	動植物有機、Mg	朝日アグリア(株)	6	0	7		3		100	追肥	20	7月下旬			20	7月下旬		
くみあい粒状苦土石灰M-10	炭酸カルシウム	村瀬石灰工業(株)	0	0	0		0			追肥	40	7月下旬			40	7月下旬		
粒状ジブライド	硫酸カルシウム、カルシウム、硫黄、珪酸、苦土、生第91680号 ハラフィンワックス38%、粘着剤0.18%	昭和肥料(株)	0	0	0.5		0			追肥	60	8月下旬			60	8月下旬		
グッドパートナー38		ロイヤル インダストリー	0.2	0	1.8		0.5			追肥	0.7	3月下旬、7月下旬	2		0.7	3月下旬、7月下旬	2	

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分と比較して 当地比	8	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	12	
実績使用量	1.9	

*節減対象農薬

当地比	5	削減
節減対象農薬	使用回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	10	20

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	スプレーオイル	マシン油		カイガラムシ類	25	350L	3/26~4/25	1	0	25	200L	4/17	1	0	-	-
殺菌	デランフロアブル	ジチアノン		炭疽病、落葉病、うどんこ病	2000	350L	5/25~30	1	1	2000	350L	5/25	1	1	5	5
殺虫	ロディー水和剤	フェンプロパトリン		カイガラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類	1500	350L	5/25~30	1	1	1500	350L	5/25	1	1	3	8
殺菌	ICボルドー412	銅		落葉病	50	350L	6/10~12	1	0	50	350L	6/10	1	0	-	-
殺虫	トクチオン水和剤	プロチオホス		うどんこ病、炭疽病、黒点病、すす点病	800	350L	6/10~12	1	1	800	350L	6/10	1	1	2	2
殺菌	アミスター10フロアブル	アゾキシストロピン		うどんこ病、落葉病、炭疽病、黒点病、すす点病	1000	350L	7/10~15	1	1	1000	350L	7/10	1	1	3	3
殺虫	バダシSG水溶剤	カルタップ		カイガラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類	1500	350L	7/10~15	1	1	1500	350L	7/10	1	1	4	4
殺菌	ストロビードライフロアブル	クレソキシムメチル		うどんこ病、落葉病、炭疽病、灰色かび病	3000	350L	8/15~20	1	1	3000	366L	8/21	1	1	3	3
殺虫	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン		カイガラムシ類、アザミウマ類	2000	350L	8/15~20	1	1	2000	366L	8/21	1	1	3	4
殺菌	ベルコート水和剤	イミクタジアルベシル酸塩		炭疽病、落葉病、うどんこ病、灰色かび病、すす点病、黒点病	1000	350L	9/15~20	1	1	1000	400L	9/14	1	1	3	3
殺虫	ロディー水和剤	フェンプロパトリン		カイガラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類	1500	350L	9/15~20	1	1	1500	400L	9/14	1	1	3	8
殺虫	フェニックスフロアブル	フルベンジアミド		うどんこ病、炭疽病、黒点病、すす点病、アザミウマ類、ハダニ類	4000	350L	9/28~10/3	1	1	4000	100L	10/1	1	1	2	3

備考:

柿の脱渋はガスが基本ですが、山形県庄内地方で栽培されている庄内柿は昔ながらの焼酎で脱渋しています。その中でも特別な脱渋方法があり、それがブランデー脱渋です。ブランデー脱渋により柿本来の甘みを引き出すといわれています。

栽培責任者松本 揮一さんの圃場:湯の尻の実績データです、

作業内容	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)	実績(施肥)	実績(防除)	収穫開始:	令和4年10月下旬
					終了:	令和4年11月中旬
1月	12月~3月 整枝剪定	整枝剪定				
2月	整枝剪定	整枝剪定				
3月	整枝剪定	整枝剪定	追肥			
4月				防除		
5月	5月下旬~7月下旬 摘花摘果	摘花摘果		防除		
6月	摘花摘果	摘花摘果		防除		
7月	摘花摘果	摘花摘果	追肥	防除		
8月				防除		
9月						
10月	10月下旬~11月中旬 収穫	10月下旬~11月中旬 収穫				
11月						
12月			元肥			